

荒川下流分散避難ワーキンググループ（第2回）

議事要旨

日時：令和4年1月14日（木）15:30～17:00

場所：足立区防災センター

（Teams 併用）

1. 開会あいさつ

荒川下流河川事務所 早川事務所長

- ・荒川下流域での流域治水の取組みにおいても、感染症を考慮した水害時の分散避難は重要な施策のひとつであり、実効性を高めていく必要がある。

松尾座長

- ・オミクロン株の感染力の強さは、国民の避難行動の壁となり得る。分散避難の取組みとともに、避難しなければならない人を減らしていく取組みも重要で、それぞれの機関の役割について議論していきたい。

2. 前回のふりかえり

事務局より説明

3. 「分散避難のあり方と留意点（中間とりまとめ）（案）」について

事務局より説明

◎資料1：分散避難のあり方と留意点（中間とりまとめ）（案）

[アドバイザー・構成員等から主な意見]

- ・安全な避難場所に避難するのが第一の目的であるが、質の高い避難をどう確保するかが重要なテーマのひとつである。
- ・災害が起きた時、ここの記載がそのまま使えるように、実践的な訓練や演習ができるように内容を構成すべき。
- ・今回はじめて分散避難をカテゴライズしたが、時間によってはその避難ができる内容が変わってくる。時間軸を入れて検討すべき。
- ・分散避難が、水防法等の要配慮者利用施設の避難確保計画や、災害対策基本法の個別避難計画とリンクするようにしてほしい。

[座長から主な意見]

- ・目的と指針は全国的に活用できる。その意味で先陣を切って参考的なものを作っていくという思いである。
- ・円滑な避難推進のための方策について、それぞれの機関の役割がある。本年の台風期を含めて、ここの議論が活用できる形にしていくべき。

- ・最近の災害では、車による避難が多い。台風が最接近する少なくとも前日など、車利用制限時間帯を設定することと、それを区民の方に理解していただく必要がある。

4. 「水害に関する意識と備えについての足立区・国土交通省 合同調査 調査票（案）」について 事務局より説明

◎資料2：水害に関する意識と備えについての足立区・国土交通省 合同調査 調査計画（案）

資料3：水害に関する意識と備えについての足立区・国土交通省 合同調査 調査票（案）

[アドバイザー・構成員等から主な意見]

- ・調査票の質問項目が多く回収率に影響されるため、できるだけシンプルなものにしていくことを検討していきたい。
- ・避難に関して足立区から出している情報と、区民が求めている情報源の違いがわかるような選択肢を設定してほしい。

[座長から主な意見]

- ・感染症がどれだけ避難行動に影響しているかを調査票から分かるようにしておきたい。
- ・調査票回収率の向上について引き続き検討をお願いする。

5. 今後の予定

事務局より説明

6. その他

事務局より説明

- ・荒川下流分散避難検討ワーキンググループ（第1回）議事要旨の公開について提案し、一部内容を確認した上で了承された。

7. 閉会あいさつ

足立区危機管理部総合防災対策室 吉原室長

- ・アンケートの結果を生かして、他の自治体への提供ができるものを作っていきたい。

以上